# 2025 年度　地域連携推進会議報告書

2026 年　1　月　30　日

| 事業所名 | 真　生　園 | | サービスの種類 | 障害者支援施設 |
|---|---|---|---|---|
| 電話番号 | 079-674-0131 | 報告者　職・氏名 | 生活支援課長　中島竜太 | |
| 開催日時 | 2026 年 1 月 21 日（水曜日）　14:00～15:30 | | | |
| 開催場所 | 真生園　新館 2 階会議室 | | | |
| 出席者 7 名 | ・真生園利用者　2 名　　・家族会会長様<br>・地域代表者様　　・朝来市役所社会福祉課様<br>・施設：近藤、中島 | | | |

地域連携推進会議の主な目的は、障害福祉サービスの透明性と質の向上、利用者の権利擁護、そしてご利用者と地域社会の関係構築を促進することです。この会議は、障害者支援施設やグループホームの運営が閉鎖的になるのを防ぎ、地域共生社会の実現を目指します。

①施設長より挨拶

・本日出席者の紹介

②2025 年度　真生園活動報告

・今年度退所者 3 名(施設での看取り支援)、入所者 4 名(他施設からの転所)。

・在宅児童の入浴支援を兼ねた短期入所の受入れを行いました。地域の方の入浴ニーズが他にもあります。

・支援状況、活動状況については資料の説明に加えて、画像での紹介も合わせて行いました。

・感染症対策については、昨年、一昨年と施設内でコロナウイルスによる集団感染が発生し、体調を長く崩された方もあることから、現在でも平時のような支援は難しく、外出や外食、面会に対して引き続き制限を設けている場面もあります。

③経営状況について

・今年度入所定員を 50 名に変更しました。これまで 60 名定員を維持してきましたが満床になることはなく、高齢化、疾病の重篤化により契約を終了される方が増える中、基本報酬の高い 50 名定員に変更することにより 60 名定員と比較し報酬自体は増額となりましたが、利用人数が減っているため収入としては減少しています。これまで法人の中でも障害者入所施設は報酬が高く、真生園は法人内の他施設を支える役割もありましたが、今後は法人全体として各事業所の役割や事業編成を検討していく時期に来ていると考えられます。

④2025 年度苦情・虐待・事故報告　　資料参照

・運営会議、懇談会でのご利用者からの申し出内容は職員の支援・対応に関する事項が中心となっています。

・ご利用者の事故について、通報による虐待疑いに対する特別監査が実施され、改善報告書を提出しました。事故の原因追求やご利用者への対応方法、受傷時の速やかな報告等に不備があり、再発させない施設運営に努めていきます。

・その他の行政報告として骨折事故が 1 件ありました。原因の追求と報告を行いました。(資料は上半期集計のため 0 件と表記しています)

⑤2025 年度満足度調査の集計報告(中島)

・接遇面…ご利用者への言葉掛け(きつい、丁寧ではない)に対する意見が継続してあがってます。自身の振り返りを行い、改めるべきところを自己覚知する必要があります。
・支援内容面…「もっとちゃんとして欲しい」という意見は、施設全体の課題として捉える必要があります。
・環境面…トイレの使用頻度が低くなっており、居室での排泄に対する衛生環境の向上が課題となっています。
・食事面…嗜好の個人的な意見もありますが、食事形態の変更(通常形態の食事が良い)を求める内容もあり、安全面からも応えられない現状もあります。
・情報提供面…職員に対して「言いにくい」という意見があり、態度・表情・忙しそうにしている等、ご利用者から見た職員の姿に対して丁寧にお話を伺うことを管理職が先頭に立ち改める必要があると省みます。

⑥事業所に対する要望、意見、感想、質疑応答

ご利用者の方より

・職員によって大きく変わってくる。特に担当職員となった場合は要望を言える人はいつでも言えるが、言えない人にはずっと言えないままになってしまう。自分は中途障害でこのような場で発言をできるが、物が言えない人は言われっぱなし、ほっとかれっぱなしになってしまう。
・若い頃はよく職員に対しても怒る(立ち向かう)こともできていたが、今はおとなしくしている。利用者全体が物を言いにくくなっているように思う。職員不足も気がかり。

家族の方より

・面会時に要望や不満は自分たち（家族）に伝えるようにして、そこから家族会が施設に利用者が不利にならないように対等に訴えていくことをしてきたが、今はその声も聞かれなくなってきている。家族も利用者を支援してもらっていることで気を使っているところもある。
・あったかプラザまでの通路が整備されていないため、車椅子で通行するには支障があるのではないか。
→近年、地域に車椅子で出かける方も少なくなっている。以前は好きな時に外出をしていたが、今は皆には心配を掛けないようにしなければという思いが先立ち外出も控えている。(ご利用者より)

地域の方より

・施設見学をして、床の手入れがされていた。建物の構造的に内部の移動距離が長い。

朝来市の方より

・職員不足から利用者への影響がないようにしてもらいたい。次年度以降の職員確保に対する市の補助金も活用しながら、引き続き利用者の方の声を施設運営に反映してもらいたい。

⑦会議のまとめとして

・本日の会議ではご利用者の方や地域及び関連する方々へ施設の実情や取り組みを紹介し、課題が多くあることもお伝えする場になったと同時に、施設運営への助言として本日の貴重なご意見を日々の支援に反映させ、次回の会議の時には、このような取り組みを行っていますと皆様に報告できるように努めていきます。

以上